



初心者が通訳をしてほしいと言われた場合 のチェックリスト

通訳をしてほしいと言われた時、とくに初めてのクライアントからの要請があったときには、以下の点を確認してください。

Published: August 31, 2016 Last updated: September 5, 2016

- ・その案件の日時と場所
 - ・そこで使われる言語が何であるかということ、自分の担当言語は、B 言語および C 言語を含めて、どの言語か
- (B 言語、C 言語については注を参照のこと)**
- ・テーマ、資料の有無、資料がある場合にはいつ提供されるか
 - ・その案件をアレンジするのは誰か・どの組織かについての詳細
 - ・通訳者チームの名前、ブースに入るのはだれか、チームリーダーはだれか
 - ・チーム内に初心者がいるかどうか
 - ・同時通訳か逐時通訳か
 - ・ディナーでの逐時通訳の仕事、出張に同行するかなど
 - ・標準的な同時通訳機器・ブースか、ISO 基準でない機器・設備か
 - ・スケジュールの詳細
 - ・雑費、その他の手当、キャンセル条項、ホテル、旅費など
 - ・この話が、問い合わせの段階なのか、オプション（仮予約）の段階なのか、確定なのか。最終判断はいつになるのか。

このリストの中には、オプションが示された時に明示されることもあれば、後日、明らかにされるものもある。



この話が確定した時には、個別の契約書を交わすのが通常の様子です。ただし、これは、フリーランスとして通訳を引き受けた場合のことで、日本では通常、エージェントを通して仕事を引き受けるので、この手続きはありません。

参考文献

- Practical guide for professional conference interpreters

Recommended citation format:

AIIC. "初心者が通訳をしてほしいと言われた場合のチェックリスト". *members.aiic.net* August 31, 2016. Accessed June 9, 2020. <<http://members.aiic.net/p/7737>>.